

# 生徒指導だより「こころ」

平成28年12月16日  
NO. 15 文責 堀晴昭

2016年も終わろうとしています。今年もいろんな情報をお知らせしたり、こういう生活をしてほしい、こういう人になってほしいと願いや思いを「たより」に書いてきました。来年も読んでいただくとうれしいです。

## 日本の伝統

日本は伝統的な行事を重んじ、それを受け継ぎながら生活しています。もうすぐ冬休みに入ります。この期間中に年が変わります。さて、お正月と言えはいたるところで「門松」を見かけます。生徒のみなさんは、意味を知っていますか。

「門松」には神様を天から招く役目があります。この「門松」には「松と竹と梅」が飾られますが、これにはいろんな意味が込められています。

「松」は、いつも葉が緑色のままなので長生きを意味します。

「竹」は、風雪に耐え、折れることなくまっすぐに伸びます。苦しいことがあってもそれに耐えて、きちんとした生活をしてほしいという願いがあります。

「梅」は、冬の寒さに耐え、一番に花が開きます。ここにも苦しいことに耐え、花開いてほしいという願いがあります。竹の切り口は、人の笑い顔に見えますが、これにも「親子3代、笑いが絶えないように」との願いがあるのです。

次は「しめ縄」です。

そもそも正月行事というのは、年神様という新年の神様をお迎えするための行事です。年神様は家々にやってきて、生きる力や幸せを授けてくださると考えられています。そこでお正月が近づくと「しめ縄」や「しめ飾り」を飾り、年神様を迎える準備をします。

しめ縄には、神様をまつるのにふさわしい神聖な場所であることを示す意味があります。その神聖な場所に不浄なものが入らないようにする役目も果たします。神社がしめ縄を張りめぐらせるのと同じ理由です。しめ縄の「しめ」には神様の「占め」る場所という意味があると言われています。

最後は「おせち料理」や「雑煮」の具材です。

かまぼこ・・・日の出を意味する。  
栗きんとん・・・黄金色に輝く財宝にたとえて。  
数の子・・・子宝と子孫繁栄を祈って。  
黒豆・・・「まめ」は元来、丈夫や健康を意味し、



「まめに働く」という語呂合わせもある。  
えび・・・腰が曲がるまで長生きすることを願って。  
ごぼう・・・細く、長く、幸せに。  
タイ・・・「めでタイ」の語呂合わせ。  
れんこん・・・孔が空いていることから遠くが見えるように、そして、先が見える1年になりますように。  
するめ・・・「けがをするめ～」の語呂合わせ。  
昆布・・・「よろこんぶ」の語呂合わせ。

調べてみると、もっとおもしろい話が日本の伝統文化には隠れていると思います。親子で「お正月」を話題に、いろんな会話をしてほしいと思います。(中学生になると会話が減る傾向にあるので)冬休みは宿題などの勉強や規則正しい生活なども大切ですが、家族間と家事の協力なども大切にしてもらいたいです。

## 心のアンケート

県からの「心のアンケート」を12月にとりました。これは「楽しい学校生活を送ることができているか」「いじめられていないか」「家庭生活の様子はどうか」など21の質問があります。全校生徒対象でとりましたが、その速報(感じたこと)をお知らせします。

○全学年とも「現在いじめられている」と答えた生徒はいませんでした。油断はしていません。

○「現在いじめられていないが、今年度いじめられたことはある」と答えた生徒は3年生2人、2年生0人、1年生0人でした。

※学校現場は、本校に「いじめはない」という楽観的な考え方を持っていません。いじめは、いつでも、どこでも、誰にでも起こり得るというスタンスで日々観察、把握に努めています。

○このアンケートで驚いたことが、生徒の半分のご家庭で携帯電話・スマホ・パソコンなどの機器でルールが決められていないことです。お子様の学力や健康保障、事件やトラブルから守る観点で決まりをつくり、守らせていただきたいと思えます。

○さらに驚いたことは、平日平均で3時間以上これらの機器を使用している生徒が7名(3年生1名、2年生3名、1年生3名)もいたことです。2時間以上もけっこういました。下校してからの家庭生活時間を考えると、帰ってから寝るまでずっと触っていることとなります。(依存症ですかね?)



## 冬休みの帰宅放送

冬休みは、午後4時30分に帰宅放送が流れ、午後5時までは家に着くようになっていきます。この放送は今回3年生の**中島凜音**さんの声が流れます。生徒のみなさんは中島さんの声を聴いたらすぐ帰宅しましょう。(日暮れが早く危険なので必ず守ってください。)また、自転車に乗るときはタスキとヘルメットの着用を。



